

WIDEX **UNIQUE**TM

取扱説明書
ワイデックス UNIQUETM

U-XP
耳あな型補聴器



WIDEX[®]
HIGH DEFINITION HEARING

お客様の WIDEX®補聴器

(補聴器販売店で記入します)

ベント: 短いベント 通常ベント ベント無し

補聴器シリーズ:

プログラム

- | | |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 万能 | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> 静寂 | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> 交通機関 | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> 都会 | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> パーティ | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> ミュージック | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> テレコイル (T) | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
-

プログラム

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> マイクとテレコイル (M+T) | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
|--|--|
-

特別プログラム

- | | |
|-----------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ゼン | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
| <input type="checkbox"/> 電話 | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
-

スマートトグルプログラム

- | | |
|------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ゼン+ | <input type="checkbox"/> オーディビリティエクステンダー |
|------------------------------|--|
-

付記

表に記載されているプログラム名は既定の名前です。他の名前を使用する場合は、表に新しい名前を記入してください。これにより、補聴器でご利用可能なプログラムがいつでも分かります。

付記

補聴器の使用を開始する前にこれらの小冊子を慎重にお読みください。

目次

ワイデックス補聴器	6
ワイデックスによるこそ.....	6
重要な安全情報.....	8
補聴器	11
ご使用にあたって.....	11
使用目的.....	11
電池.....	11
音によるお知らせ.....	13
左右補聴器の識別.....	14
補聴器電源のオン・オフ.....	15
補聴器の装着と取外し.....	16
音の調整.....	17
プログラム.....	18
お手入れ	21
用具.....	21
補聴器のお手入れ.....	21
ワックスガード.....	24
アクセサリ	27
故障と思われるときの対処方法	28
規制情報	31

EC 指令.....	31
FCC/IC ステートメント.....	32
記号.....	36

ワイデックス補聴器

ワイデックスによろこそ

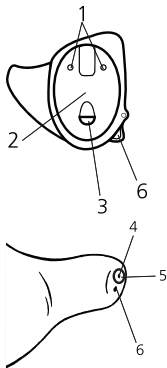
新しい補聴器をご購入いただき有難うございます。

慣れるまでに少し時間がかかるかもしれませんが、補聴器を定期的にお使いください。使用する時間を増やしていくことで、より補聴器の効果を実感されるでしょう。

付記

この取扱説明書に記載されている補聴器、イヤセット、付属品の図は、お客様のものとは異なる場合があります。また必要が生じた場合、弊社はこの取扱説明書の記載内容を変更する場合があります。


各部の名称





1. マイク入音口
2. 電池カバー（オン/オフ機能）
3. 爪グリップ
4. 音口
5. ワックスガード
6. ベント（オプション）


重要な安全情報


補聴器の使用を開始する前にこれらのページを慎重にお読みください。


 補聴器および電池は口に入れたり、不適切な使用をする
と非常に危険です。怪我や、思わぬ事態になりかねませ
ん。万一誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談
ください。


 補聴器はお使いにならない時は取り外してください、取
り外しておくことで、外耳道が換気され、耳の感染症を
防ぎます。


 耳の感染症が疑われる場合、耳鼻科医師に直ちに連絡し
てください。


 シャワーを浴びたり、泳いだり、ヘアドライヤを使った
りする前に補聴器を取り外してください。


 香水、スプレー、ジェル、ローション、クリームを付け
る際には、補聴器を着けないでください。


 電子レンジで補聴器を乾かさなでください。補聴器が
破損します。


 他人の補聴器を絶対に使用しないでください。また、他
人がお客様の補聴器を使用しないようにしてください。
それによりお客様の聴覚が損傷する恐れがあります。


 鉱山などの爆発性ガスが存在する可能性がある環境では
補聴器を絶対に使用しないでください。


 補聴器、その部品、付属品および電池を子供の手の届かないところに保管してください。

 自分自身で補聴器を開いたり、修理したりしないでください。補聴器の修理が必要な場合は、販売店に相談してください。

 補聴器には無線通信技術が導入されています。補聴器を使用している環境には常に注意してください。何らかの規制が適用される場合には、それらを順守するよう注意を払ってください。

 **この補聴器は、132 dBSPL を超える音を再生できます。残存聴力を損傷する危険性がありますので、ご注意ください。**

 補聴器を極度の高温または高い湿度にさらさないでください。濡れたり汗を多くかいた場合は直ちに乾燥させてください。

 CT や MRI などの検査を受ける際には、事前に補聴器を外してください。補聴器から大きな音が生じたり、補聴器を破損することがあります。IH 調理器など電磁波を発生する機器の影響で、雑音や歪みを生じることがあります。

補聴器の保管と輸送は、温度-20° C~+55° C (-4° F~131° F)、湿度 10%~95% rH の環境で行ってください。

最高温度 60° C (140° F)、湿度 10%~95% rH の環境での保管、輸送は短期間（最長 2 週間）に限られます。

補聴器は 0° C (32° F) ~50° C (122° F) で作動するよう設計されています。

補聴器の詳細については <http://global.widex.com> をご覧ください。

補聴器

ご使用にあたって

この補聴器は、聴力低下が微小（10 dB HL）から高度（90 dB HL）の範囲にある生後 36 ヶ月以上の方を対象とした機器です。

補聴器の調整にあたっては、専門的教育を受けた補聴器技能者・言語聴覚士・医師により処方されることを推奨します。

使用目的

この補聴器は、増幅された音により日常生活での聞こえを補う機器です。モデルによっては、背景音に楽音やノイズを再生し、静かな環境でリラックスするためのゼンプログラムを使用できます。


電池


お客様の補聴器には、**空気電池 PR41（312 タイプ）**をご利用ください。


使用推奨期限に注意し、販売店が推奨する電池を常にお使いください。

付記

電池に汚れや残留物が全くないことを確認してから補聴器に挿入してください。電池の状態により補聴器の動作に影響する場合があります。

 補聴器の電池は、爆発する可能性があるため、再充電しないでください。

 消耗した電池を補聴器に入れたまま保管しないでください。液漏れにより、補聴器が壊れる恐れがあります。

 パッケージの記載に従い、使用済み電池を廃棄してください。使用推奨期限にご注意ください。

電池電圧低下のお知らせ

電池残量が少なくなってくると、補聴器はお知らせ音で知らせます。また、電池が突然に消耗した場合、お知らせ音を発しないことがあります。このお知らせ音が鳴ってから補聴器がどのくらい使用できるかは個々に異なりますので、常に予備の電池を持ち歩くことをお勧めします。

電池の交換

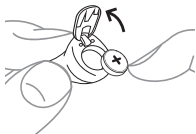
電池を交換するには、次の手順を実施してください。



新しい電池のシールを取り外し、粘性の残留物が残っていないことを確認します。約 60 秒間「通気」し、電圧を安定させます。



爪グリップを使って電池収納部カバーを下に押し、カバーを開きます。



次に、図のように新しい電池を向きに注意してホルダーに入れます。ホルダーを閉じます。ホルダーが閉まりにくい場合、電池が正しく挿入されていない場合があります。補聴器を数日間ご利用にならない場合は、電池を取り外してください。

付記

補聴器を落とさないでください。電池を交換する際には補聴器を柔らかい布の上に置いてください。

音によるお知らせ

特定の機能が有効になったこと、およびプログラムを変更したことを補聴器は音でお知らせします。お客様のニーズや好みに応じて、音声によるメッセージまたはトーン（機械音）にすることができます。

プログラム メッセージ/1 回の短い音 ピッ

1

プログラム メッセージ/2 回の短い音 ピッピッ

2

プログラム 3 メッセージ/3 回の短い音 ピッピッピッ

プログラム 4 メッセージ/1 回の長い音と 1 回の短い音
ピーッピッ

プログラム 5 メッセージ/1 回の長い音と 2 回の短い音
ピーッピッピッ

ゼン+ メッセージ/トーン

お知らせ音を無効にすることも可能です。販売店にご相談ください。

通信相手未検出時の警告

(440 シリーズのみ)

両耳装用で左右補聴器間の通信が途切れた場合、補聴器が警告を発する機能をオンにすることができます。言葉によるメッセージが聞こえます。

左右補聴器の識別

右耳の補聴器には赤いマークが付いています。左耳の補聴器には青いマークが付いています。

補聴器電源のオン・オフ



電池を挿入して電池カバーを閉じて上へ押し上げると、補聴器の電源が入ります。補聴器からは、電源が入ったことを知らせるお知らせ音が聞こえます（お知らせ音を無効に設定している場合を除く）。

電池カバーを押し下げると、電源は切れます。

付記

補聴器を手で覆って補聴器の電源のオンとオフを確認することもできます。補聴器を手で覆った時にハウリング（ピーツという音）が起きたら、補聴器の電源が入っています。補聴器を使用しない時は、必ず電源を切ってください。

補聴器の装着と取外し



電池ホルダー（カバー）を完全に閉じます。親指と人差し指で補聴器またはテグスをしっかり持ち、抵抗を感じるまで耳にゆっくりと挿入します。

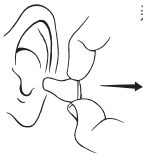
補聴器を耳の中に安定するまで、人差し指の先で静かに押し込みます。

もう片方の手で耳介を後方、上方向に引っ張ると装着しやすくなります。

付記

補聴器が安定しなかったり、耳の皮膚が赤くなったり違和感などの異常を感じる場合は、販売店にご相談ください。

補聴器の取り外し



親指と人差し指で補聴器をしっかり持ち、ゆっくり引き出します。

付記

取り外しにくい時は、補聴器を左右に揺らしながら引き出して下さい。

音の調整

補聴器は、周囲の音の環境に応じて出力音を自動的に調整します。

リモコンをお使いの場合、お客様のニーズやお好みに応じてより快適にする、あるいはより聴き取りやすくするように手動で調節できます。詳しくは、販売店に相談してください。

補聴器を両耳でお使いの場合、左右両方の補聴器の音量が同時に調節されます。

リモコンのボリュームボタンを操作する度に、お知らせ音が聞こえます。(お知らせ音を無効に設定している場合を除く)。音量が最大または最小に達すると、「ピー」または「プー」という長い音が聞こえます。

補聴器を消音にするには、以下の手順を実施してください。

- リモコンのボリュームボタンの下側を押します。「プー」という音が聞こえても押し続けると、補聴器の音を消すことができます。

消音にした後、再度音を出すには、

- ボリュームボタンの上部を押します、または
- プログラムを変更します

補聴器の電源を切ったり、プログラムを変更すると、音量は元に戻ります。

プログラム

プログラム	用途
万能	日常用プログラム
静寂	静かな環境で聴くためのプログラム
交通機関	車、列車などの騒音がある状況で聴くためのプログラム
都会	音の変化が多い状況で聴くためのプログラム（スーパーマーケット、騒音がある職場など）
パーティ	多くの人が同時に話している状況で聴くためのプログラム
ミュージック	音楽を聴くためのプログラム
テレコイル	補聴器のテレコイルを通して聴くため、周囲の騒音なしに、必要な音声を直接聴くことができます（磁気誘導ループシステムが必要）
M+T（マイクとテレコイル）	補聴器のマイクとテレコイルを組み合わせています。ループシステムからの音源だけでなく、周囲の音も聴くことができます

特別プログラム

用途

ゼン

ストレス軽減を目的とした機能。
チャイムや鐘の音を奏でます

電話

電話の会話を聴くために最適なプログラム

スマートトグルプログラム 用途

ゼン+

ゼンと同様ですが、様々なタイプの
トーンやノイズを聴くことができます

付記

リストにあるプログラム名は既定のものです。販売店では、あらかじめ選択されたリストにあるプログラム名を選択することもできます。これにより、それぞれの状況に合ったプログラムをより簡単に選択できます。

お客様の聴力に応じ、販売店ではオーディビリティエクステンダーの機能を有効にすることができます。この機能でメリットが得られるかどうかについては販売店にお尋ねください。

後にお客様の生活環境の変化に応じて、プログラムの組み合わせを変更することもできます。プログラムの追加や変更に関しましては、販売店にご相談ください。

ゼンプログラム

補聴器には、ゼンと呼ばれるユニークなプログラムが搭載されている場合があります。これは、背景に楽音 (または広帯域ノイズ) を作り出します。



音の大きさの減少、許容範囲外の音、音声が明確ではない、耳鳴りの悪化を感じた場合は、聴覚専門医に相談してください。



ゼンプログラムを使用すると、会話などを含む通常の音声
が妨げられることがあります。そのような音を聞くことが重要な場合は、このプログラムを使用しないでください。そのような状況では、補聴器をゼン以外のプログラムに切り替えてください。

プログラムの切替え

プログラムを切替えるには、リモコンのプログラムボタンを押します。

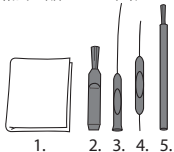
ゼン+

リモコンのプログラムボタンを1秒以上長押しするとゼン+プログラムに切り替わります。その後、プログラムボタンを短く押すと、設定されているゼンスタイルに順番に切り替わります。ゼン+プログラムを終了する場合は、リモコンのプログラムボタンを1秒以上長押しします。

お手入れ

用具

補聴器には下記のお手入れ用具が同梱されています。

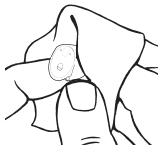


1. やわらかい布
2. ブラシ
3. 耳垢除去用具（長）
4. 耳垢除去用具（短）
5. 電池取り出し用磁石

補聴器のお手入れ

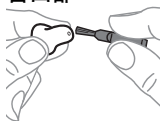
補聴器の性能を維持するために、耳垢や汚れを取り除いて常にきれいな状態にしてください。

補聴器



ご使用後は、やわらかい布で補聴器を拭いてください。

音口部



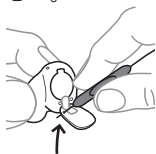
音口の**周り**にある目に見える耳垢を小さいブラシや布で除去してください。決してワックスガードを**掃除しよう**としないでください。

付記

音口のお手入れが難しい場合、販売店にご相談ください。決して音口に細長い物を**挿入しないでください**。挿入すると補聴器が破損する場合があります。

マイク入音部

補聴器前面のマイク入音口を次のようにお手入れしてください。



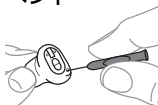
電池カバーを開き、図のように、開いた電池カバーが下向きになるように補聴器を持ちます。

4.のお手入れ用具の短い先端を、電池カバーのマイクの入音口(2か所)に内側から差しこみ、汚れを押し出します。

付記

耳垢や汚れが補聴器内のマイクに入っていることが疑われる場合、販売店へご相談ください。マイクには何も**挿入しないでください**。

ベント



3.のお手入れ用具の長い先端をベントに挿入し、ベント内に付着した耳垢を取り除きます。



電池カバーを開けたままにして通気してください。

付記

ベントを常にお掃除して耳垢、汚れなどがないようにすることが、補聴器の性能を維持するのに重要です。使用後は毎日お手入れし、ベントが詰まった場合は販売店に相談してください。

補聴器が濡れたり、汗を多くかいたりした場合は、補聴器を直ちに乾かしてください。補聴器を常に乾燥させ清潔に保つために、ワイテックス Dry-Go (ドライゴー) などの乾燥機を使用する方もいます。詳しくは、販売店にご相談ください。



補聴器のお手入れに液体や殺菌剤を使用しないでください。



使用後は、補聴器をお手入れし、破損していないかどうかを確認してください。補聴器を着用中に破損して、外耳道に小さい破片が残った場合、医師に連絡してください。決して破片を自身で取り出さないでください。

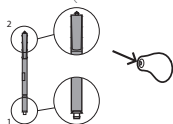
ワックスガード

ワックスガードは、耳垢や汚れの侵入を防ぎ、補聴器を保護するための部品です。必ずワイデックスのワックスガードを取り付けてご使用ください。ワックスガードを付けずに補聴器をご使用になって故障した場合は、保証の適用範囲外になる場合があります。

ワックスガードの交換

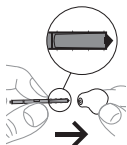


図示されているように、ケースを開きます。

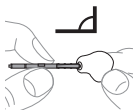


ワックスガードは以下の部品で構成されています。

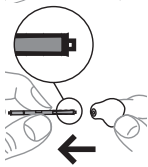
1. 取り外しフック
2. 新しいワックスガード



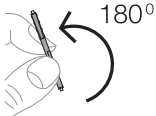
取り外しフックを使用済みのワックスガードに挿入します。



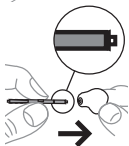
図を参考にホルダーを直角に保ちます。



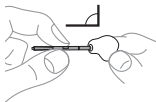
そのまままっすぐ使用済みワックスガードを引き抜きます。



ホルダーの向きを変え、新しいワックスガードを音口に向けます。



音口の開口部に新しいワックスガードを挿入し、そっと押し付けます。



ホルダーをまっすぐ引き抜きます。



ワックスガードの交換頻度については、販売店にご相談ください。



ワックスガードは使い捨てで、お掃除して再使用することはできません。



ワックスガードの取付けがゆるい場合は、それを破棄して新しいワックスガードを使用してください。



ワックスガードが補聴器の使用中に耳の内側で外れた場合は、医師に連絡してそれを取り除いてください。自分自身でワックスガードを取り除こうとしないでください。

アクセサリ

別売りの補聴援助用アクセサリを使用することができます。詳しくは販売店にご相談ください。

名称	用途
RC-DEX	リモコン
TV-DEX	テレビおよびオーディオの受聴用
PHONE-DEX	シンプルな固定電話用(日本国内未対応)
FM+DEX	FM 受信機、外部音響機器からの信号を補聴器へ伝達
T-DEX	テレコイルで補聴器を携帯電話に接続するために使用 (未発売)
UNI-DEX	補聴器を携帯電話に接続するために使用
CALL-DEX	携帯電話・スマートホンを無線で接続
COM-DEX	Bluetooth 経由でスマートホンや他の機器に無線で接続
COM-DEX リモート マイク	特定の話者の音声を聞き取りやすくします

一部の国でのみの販売です。

故障と思われるときの対処方法

補聴器が作動しなくなった、または期待していたほど機能しない場合は、このページに記載のアドバイスを参照してください。問題が解決しない場合は、販売店に連絡してください。

問題点	考えられる要因	解決策
補聴器から音が聞こえない	補聴器の電源が入っていない	電池が正しく挿入され、電池ホルダー・カバーがしっかり閉じているか、確認してください。
	電池の消耗または電池不良	新しい電池を入れて試してください
	音口部が詰まっている	お手入れの章を参照してください
	マイクの入音口が詰まっている	お手入れの章を参照してください
補聴器の音が小さく感じる	音口部が詰まっている	お手入れの章を参照してください
	外耳道に耳垢が詰まっている	耳鼻科医にご相談ください
	聴力が変化した	耳鼻科医にご相談ください

問題点	考えられる要因	解決策
ピーツというハウリング音が常に聞こえる	外耳道に耳垢が詰まっている	耳鼻科医にご相談ください
	補聴器が外耳道に正しく挿入されていない	一度取り外し、装着し直してください
補聴器の装用感がよくない	補聴器が緩い	販売店にご相談ください
	補聴器が外耳道に正しく挿入されていない。	販売店にご相談ください
	補聴器が耳の形に合っていない	販売店にご相談ください
	外耳または外耳道が痛い	初めて補聴器を使用する場合、短時間のみ使用することが重要です。2～3週間かけて補聴器に徐々に慣れるようにしてください。問題が解決しない場合は、販売店にご相談ください
補聴器が両耳同時に動作しない	補聴器間の通信が途絶えた	補聴器の電源を入れ直してください

問題点

考えられる要因

解決策

操作機器で音量調節やリスニングプログラムの切り替えをしても補聴器が反応しない

- a. 操作機器が通信圏外で使用されている
- b. 近くに電磁波を出す機器がある
- c. 操作機器と補聴器がマッチングされていない

- a. 操作機器を補聴器に近づけます
- b. 電波干渉する機器から離れます
- c. 操作機器が補聴器と正しくマッチングされているか、販売店に確認してください

使用時に音が途切れる、または片方の補聴器からの音が聞こえない

- a. 片方の補聴器の電池が消耗した
- b. 近くに電磁波を出す機器がある

- a. 片方または両方の補聴器の電池を交換してください
- b. 電波干渉する機器から離れてください

規制情報

EC 指令

指令 2014/53/EU

ここに、Widex A/S は、U-XP が指令 2014/53/EU の基本要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

U - XP には、10.6 MHz、-54 dB μ A/m @10 m の無線送信機が搭載されています。

2014/53/EU に基づく適合宣言のコピーは以下に掲載されています：

<http://global.widex.com/doc>



N26346

処分に関する情報

補聴器やその付属品、電池を通常の廃棄物として処分しないでください。

補聴器やその付属品、電池については、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元へ処分を依頼してください。

FCC/IC ステートメント

FCC ID: TTY - UXP

IC: 5676B-UXP

Federal Communications Commission Statement

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be

determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Changes or modifications to the equipment not expressly approved by Widex could void the user's authority to operate the equipment.

Industry Canada Statement / Déclaration d'industrie Canada

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada.

To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p.) is not more than that necessary for successful communication.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada.

Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

記号

ワイテックス株式会社が製造販売する管理医療機器の表示（ラベルや取扱説明書など）に共通して使用される記号

記号 タイトル/説明



製造元

製品の製造者名、製造所の所在地。製造年月も記載される場合があります。



カタログ番号

製品のカタログ（品目）番号



取扱説明書を参照

取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ（重要/注意）が記載されていますので、製品のご使用前に必ずお読みください。



警告

警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。



WEEE マーク

「一般廃棄物ではありません」製品の廃棄については、危険物質があるために環境や人の健康を害するリスクを防ぐため、指定されたリサイクル・回収場所に廃棄してください。

記号 **タイトル/説明**



CE マーク

製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。



RCM マーク

製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する電気安全、EMC、無線スペクトル規制要件に準拠しています。



電磁波による干渉

製品の近くでは電磁波による干渉が起きる可能性があります。

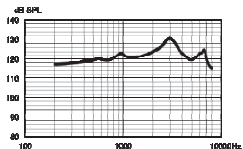
電気音響的性能

電気音響的性能は、JIS C 5512-2000 による。

		U-XP
規準周波数		2500Hz
電池の種類		PR41 1.4V
90dB最大出力音圧レベル (※)	500Hz	119 dB SPL
	2500Hz	127 dB SPL
	ピーク	135 dB SPL 以下
最大音響利得 (90dB SPL入力)	2500Hz	68 dB
等価入力雑音レベル (※)		25 dB SPL 以下
電池の電流 (※)		1.2mA 以下
全高調波ひずみ (※)	500Hz	3.0% 以下
	800Hz	5.0% 以下
	1600Hz	5.0% 以下
誘導コイル入力の最大感度		94 dB (テレコイル付きの場合)
誘導コイルが最大感度となる方向		垂直方向 (テレコイル付きの場合)

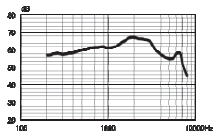
(※) テストモード1で測定

90dB最大出力
音圧レベル
周波数レスポンス(※)

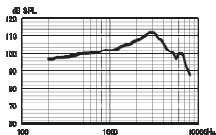


最大音響利得の
周波数レスポンス

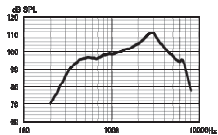
入力:50dB SPL



規準
周波数レスポンス(※)

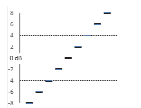


誘導コイル入力の
周波数レスポンス(※)



利得調整器の変化特性

(リモコン使用の場合)



ワイデックス株式会社
製造販売元 ワイデックス株式会社
〒131-0034 東京都墨田区堤通 1-19-9
リバーサイド隅田セントラルタワー
TEL 0120-332-604 FAX 0120-332-394
<http://japan.widex.com/>
許可番号 13B2X00020 管理医療機器



WIDEX A/S

Nymoellevej 6, DK-3540 Lyngø, Denmark
global.widex.com



取扱説明書番号:
9 514 0319 016 #02
発行:
2017-08

